

令和7年度 みたLMO運営委員会 事業報告書

1 令和7年度の目標に対する事業実施の成果

- ・広報誌やインスタグラムを開設し、積極的に情報発信を行うことで地域での認知度を高めることができた。
- ・地域課題のうち、一番深刻な住民間のコミュニケーション不足を解決するため、夏祭りを開催し、新たなにぎわいづくりの場を創出することができた。

2 ひろしまLMO運営助成金を活用した事業

1 事業名	三田小学校児童の成長を見守る交流会	(8)事業中(1)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(5) 地域のこども及び子育て世帯への支援に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和7年11月6日	
(2) 実施場所	三田小学校 体育館	
(3) 参加者数	82 人	
(4) 主催団体	団体名 三田小学校 PTA	
4 取組内容	生協広島が行っている、ランチプレートゲームを三田小学校の学習の時間を利用して実施した。学習の様子を、保護者、地域住民に公開することで、三田小学校の児童の学習内容を地域住民にも見てもらい、開かれた学習の場・時間にすることができた。また、地域住民との顔の見える関係ができ、児童・地域住民の絆を深めることにつながった。	
5 目的・効果	(事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。)	
(1) 目的	地域住民と児童の交流の機会がなく、児童が通学時など挨拶をしない場面がある。顔の见えない関係であると感じるため、顔の見える関係づくりの一助にしたい。	
(2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。）	現状、地域住民と児童、ひいては児童の保護者の交流があまりなく、地域の絆が希薄化していたが、当該事業を実施した結果、児童・保護者、三田小学校の教職員とも顔の見える関係づくりにつながった。また、地域住民については少数であるが参加があり、児童・保護者に地域住民の案内をする時間を設けることで、顔の見える関係になり、課題である住民同士の関係の希薄化の解消に寄与することができた。	

2 ひろしまLMO運営助成金を活用した事業

1 事業名	食を通じて住民同士の交流を図る	(8)事業中(2)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(5) 地域のこども及び子育て世帯への支援に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和8年3月20日	
(2) 実施場所	三田集会所	
(3) 参加者数	48 人	
(4) 主催団体	団体名 三田小学校 PTA	
4 取組内容	当初、地域団体（つながる愛三田地域食堂とツジマチ）と共同して三田小学校児童の成長を見守る交流にて作成したランチプレートを作成し、地域住民にふるまうことを計画していたが、インフルエンザなどへの罹患の心配より当初の企画を変更し、同じ地域住民同士の交流の場の実施をインフルエンザなどの流行の心配がない3月に、食事を喫茶（地域団体2社の協力に合わせて、東広島企業にも協力を頂く）に変更し、取り組んだ。	
5 目的・効果	（事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。） (1) 目的 小学校で学習するものが、児童自身が直接誰かを喜ばすものになることが感じにくいカリキュラムになっているため、当事業を通して学校で行われているカリキュラムも他者を喜ばす要素があることを実感し、より一層熱心に学習に取り組んでもらう。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。） 児童（主に5・6年生）に他者（地域住民）を喜ばす気持ちや感謝の気持ちをはぐくむことで、他者に対して優しい気持ちで接することができるなど感情表現や対人関係を高めることに寄与した。あわせて小学生を中心とした他年齢の子どもと交流を行うことで、子ども同士の関係づくりの一助になった。	

2 ひろしまLMO運営助成金を活用した事業

1 事業名	子ども達の交流を深め、成長を多角的に促すための事業	(8)事業中(3)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(5) 地域のこども及び子育て世帯への支援に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和7年11月5日	
(2) 実施場所	三田保育園～安佐動物園	
(3) 参加者数	20 人	
(4) 主催団体	団体名 三田保育園後援会 (三田保育園)	
4 取組内容	バスを貸し切り、みんなで安佐動物園へ移動した。 動物を見たり、ふれあいながら園内を散策し、屋外でみんなでお弁当を食べた。	
5 目的・効果	(事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。)	
(1) 目的 ・秋の自然を感じたり、様々な動物に興味を広げたりして遠足を楽しむ。 ・友だちと手を繋いだり、一緒に発見を驚いたりしながら他者との関わりを深める。 ・バスの中や公共の場でのマナーを知り、守ろうとする。 (2) 効果 (事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。) ・幼児が同じ経験を共にすることで、感性の成長発達が促され社会性を身に付けるきっかけとなった。 ・友だちと一緒に楽しい経験を共有したことで子どもたちの関係が深まった。 ・普段バスに乗る機会がないため、子ども達にとって新鮮で刺激のある経験となった。		

2 ひろしまLMO運営助成金を活用した事業

1 事業名	【地産地消】地域の魅力再発見事業（モグベリーde ランチコンサート）	(8)事業中(4)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(5) 地域のこども及び子育て世帯への支援に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和8年2月22日	
(2) 実施場所	モグベリー	
(3) 参加者数	149人	
(4) 主催団体	団体名 三田学区子ども会	
4 取組内容	三田保育園・三田小学校・三田小学校を卒業した中学生世帯、モグベリー付近にお住まいの地域の方たち総勢149名が参加。3棟のビニールハウスに分かれ、モグベリーにていちご狩りを体験。小学生以下の子どもたち対象にカップケーキデコレーション体験（品川製菓作のカップケーキに自分で収穫したいちごと生クリームと粉糖を子ども自らがデコレーションし食するもの）を行った。その後、モグベリーのベンチスペースにて、県内で活躍されている広島市出身の藤江潤士氏のコンサートを楽しんだ。その後、三田在住の店主が営むOKONOMIYAKI37のお弁当を参加者に提供した。	
5 目的・効果	(事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。)	
(1) 目的	大人気スポットとなっている「モグベリー」だが、三田地区の住民でも未だ訪れたことがない人が多い。多世代でいちご狩りを体験し、地産地消と三田地区の魅力を再発見していくことを目指す。また、広島で活躍されている音楽家を招き歌やトークを楽しみ、昼食を共にする時間を設けて、多世代交流を深めていく。	
(2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。）	参加者から、「モグベリーにはタイミングがなくて行ったことがないから楽しみだ」という声をたくさんいただいた。当日はモグベリーでのいちご狩りの楽しさ、いちごの美味しさを、三田学区の地域の魅力として多くの方に実感していただくことができた。 また子ども世帯以外の地域の方からは「子ども会行事に参加することが新鮮だ」という声も聞かれた。実際に、2歳から80歳代の方の参加があり、子どもたちやその保護者が、地域の方たちと一緒に地域の魅力を堪能する時間となり、「ふるさと」での多世代間交流に寄与することができた。	

2 ひろしまLMO運営助成金を活用した事業

1 事業名	上三田地区親睦レクリエーション大会	(8)事業中(5)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(2) 地域住民の健康の維持増進に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和7年10月26日	
(2) 実施場所	上三田集会所及び柳原八幡神社境内	
(3) 参加者数	130 人	
(4) 主催団体	団体名 三田地区町内会・自治会連合会	
4 取組内容		
主に高齢者を対象とした玉入れや、輪投げなどを行うことで、住民同士の交流を深めた。		
5 目的・効果	(事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。)	
(1) 目的 ・地区で親睦を深め、地区住民が一体となることに加えて、健康増進に寄与することを目的とする。 ・今後、地区住民の一体感を高めていくため、上三田地区だけでなく、中三田、下三田にも水平展開出来るようにする。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。） 雨予報で人手が心配されたが思った以上に人が集まり、いつもは話をする事もない住民同士が和気あいあいと楽しまれており、交流を深めることができた。 また、楽しみながら身体を動かすことができ、フレイル（虚弱）予防にも寄与した。		

2 ひろしまLMO運営助成金を活用した事業

1 事業名	夏祭り	(8)事業中(6)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(11) 地域の伝統的な行事又は文化の継承に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和7年8月13日	
(2) 実施場所	三田小学校グラウンド	
(3) 参加者数	500 人	
(4) 主催団体	団体名 三田地区町内会・自治会連合会	
4 取組内容	① 若手主導の1部と従来の2部を設け、老若男女で交流を図った。 ② 若手の考えたプログラム、催しで夏祭りを開催し、地域の繋がりや連帯感を得た。	
5 目的・効果	(事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。)	
(1) 目的 ① 夏祭りの開催により三田地区を盛り上げる。 ② 若手の参加（参画）により、新たな担い手を確保し持続的な発展を目指す。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。） ① 若手主導で1部を行い満足感、達成感にあふれた笑顔が印象深かった。 ② 若手と交流があまりなかったが、盛り上げてくれて「ありがとう」の声が多くあった。 ③ 若手に三田を盛り上げていきたいとの気持ちが伝わってきた。 以上のことから、いずれ（将来的に）は三田に帰ってきたいとの気持ちが少しは芽生えており、三田にいて良かったと思えるような環境づくりに寄与するとともに、地区をあげた夏祭りの持続性にもつながった。		

2 ひろしまLMO運営助成金を活用した事業

1 事業名	地域防災リーダー育成事業	(8)事業中(7)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(8) 地域の防災又は減災に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和7年11月8日	
(2) 実施場所	広島市総合防災センター	
(3) 参加者数	10 人	
(4) 主催団体	団体名 三田学区自主防災会連合会	
4 取組内容	上、中、下三田地区より数名ずつ（計10名）、地域の防災リーダーを育成するため、広島市総合防災センターにて災害体験等の研修を受講した。	
5 目的・効果	（事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。） (1) 目的 学区内の単位町内会より代表者を出してもらい、防災リーダーを育成するとともに、広島市総合防災センターでの様々な災害体験を経験し、災害に対する危機意識を各自の町内会に持ち帰ることで、各町内会単位での防災対策に役立てる。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。） 平成30年豪雨後の河川改修及び復旧工事が終わりにかけて災害に対する油断が生まれているところ、災害は水害だけでなく様々な災害があることを認識することができ、防災意識は常に持っていないといけないこと、さらに広く住民にも伝えていくことにより、地域内の防災意識の向上に寄与した。	

2 ひろしまLMO運営助成金を活用した事業

1 事業名	子どもすくすく活動ポイント事業	(8)事業中(8)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(5) 地域のこども及び子育て世帯への支援に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和7年4月1日 ~ 令和8年3月31日	
(2) 実施場所	広島市全域	
(3) 参加者数	26 人	
(4) 主催団体	団体名 三田地区青少年健全育成連絡協議会	
4 取組内容	子ども(0歳~22歳)を対象に、子どもすくすくポイント手帳を発行し対象者に配布。地域活動に参加で1ポイント、ボランティア活動など運営の手伝いをする事で2ポイントを付与し、50ポイント貯めることで商品进行贈呈、20ポイント以上は10ポイント貯めるごとに抽選で商品进行贈呈。ポイントスタンプは専用のスタンプを準備、高齢者いきいき活動ポイントのスタンプがある活動に参加した場合は、いきいきポイントスタンプを活用し子どもポイント手帳に押印。	
5 目的・効果	(事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。)	
(1) 目的	地域の子供が、言われて手伝うのではなく、自らの意思で行動に移す仕組みとして、きっかけはポイント目的でも子供達が地域活動に参加する意識向上、地域離れ脱却のツールとして本事業を開始する。	
(2) 効果(事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。)	ポイント目的で、子供達が地域活動に参加する見込みでいたが、普段参加している子供がさらに意欲的に活動をしてくれたことと、地域でやりたい事、チャレンジしたいことの意見が多く出てきたこと。地域の大人も子供達の活動、行動力を見る機会が増え、大人が子供に任せる雰囲気が醸成された。	

3 自主財源で実施した事業

特になし